

★「一人一芸の里」大野を巣立ち、それぞれの道へ(卒業式3/1(火))

令和4年も2月に入るとともに、オミクロン株への感染が久慈地区でも拡大傾向となり、開催が危ぶまれる中、令和3年度岩手県立大野高等学校卒業式は3月1日に予定どおり挙行されました。当日は暖かな春の日差しの下、洋野町副町長、PTA会長、同窓会長を来賓としてお招きし、卒業生27名が一人の欠席もなく、無事に卒業証書を手に入れました。保護者からは、このような状況下で卒業式を催してくれてありがとうという感謝の言葉をいただきました。当たり前のことがそうでなくなった世の中で、平和なことへの幸せを感じた一日でした。



第48回卒業生からのメッセージ(「進路の手引き」に寄せられた手記より)

- あきらめるような言動を抑えたり、友達に相談して、いつでもポジティブ思考を持って就職活動を乗り越えましょう。今後の未来を切り開くのはあなた自身です！
- 進路活動はともしんどいです。そのため推しを作ってください。辛い、泣きたい、もう無理と思ったときは推しを見てください。見るだけで頑張れます。
- 進路達成を実現するためには、親や先生方の協力が必要不可欠です。自分勝手な行動はしないようにしてください。また、相手には相手の都合があるということを忘れずに進路活動に励んでください。
- 大切なのは体調管理です。軽く身体を動かすこと、きちんとご飯を食べること、睡眠はしっかりとることを忘れないでください。心と身体は密接ですから、進路達成のために健康には十分注意してください。
- 最後まで支えてくださった先生方、友達、家族にはとても感謝しています。本当にありがとうございました。高校生活で学んだことを生かし必ず自分の夢を実現したいと思います。
- 必ずオープンキャンパスに参加することです。学校の良さや、他校との違いを知ることができ進路先を決める際に役立ちます。自分の進路実現に向けて頑張ってください。
- 二つ大切なことがあります！一つ目は身だしなみです。二つ目は、試験の準備とかで忙しくなり、あっという間に試験日が来てしまうので、計画を立てて不安な状態ではなく完璧な状態になるように、時間を大切にしてください。
- 後輩の皆さん、最後まで諦めずに自分の夢を追いかけてください。たくさん勉強して、楽しんで充実した3年間を過ごしてください。
- 進学指導をしてくださった三学年の先生方、面接指導をしてくださった先生方、ありがとうございました。そして今まで相談に乗ってくれた友達みんなもありがとうございました。
- 自ら積極的に行動することが大切です。特に面接練習は途中から率先して先生に練習をお願いすることになります。また進路を決めるにあたって親や先生との話し合いも必要になってきます。そのことで自分に合う進路が見つかると思います。
- 皆さんにはまだ時間があると思うので、自分が納得できるまでたくさん準備してください。たくさん頑張ったという気持ちは自信につながります。最後まで諦めず頑張ってください。
- 進路のことは面倒くさながら早めに考えておいたほうが良いと頭の片隅においてください。周りの人の内定が決まってくにつれ、不安や焦りが出てきますが、あまり考えすぎず、自分が後悔しないような進路を決めることが大切だと思います。
- 受験勉強や面接対策をしている中で、自分が知らなかったことに面白いと感じることがあると思います。やりたいことを忘れずに、自分にできることを精一杯頑張ってください。
- 時間は有限です。1、2年生のうちから進路へ意識を向けていけば後悔のない進路活動にすることができると思います。
- また、受験は団体戦です。1人で悩まず周りの人にたくさん頼ってください。その分、周りの人を支えてあげてください。
- 後輩の皆さんへ、時間はあるようでありません。今のうちから進路について考えていたほうが良いと思います。3年生になってからは遅いからです。進路実現頑張ってください。応援しています。
- しっかり勉強しましょう。勉強する理由は人それぞれだと思いますが、私は世界を広げるためだと考えています。学校で習うことの多くは無駄にならないと私は思います。なんの役に立つかを考えるよりも、どう使えば役に立つかを考えた方が世界は広がりますよ。
- 高校生活で大切なことは目標を立てることです。高校生活は楽しいことばかりではありません。部活動が楽しい、勉強が楽しいと思うことが出てくるかもしれません。そのようなときに自分を支えてくれるのは目標だと思います。私自身も実際そうでした。
- 早いうちから自分の進路について考え始めましょう。また、進路活動をしていると悩んだりやりたくないと思ったりすることがあると思いますが一人で抱え込まずに先生や友達に相談しましょう。進路活動はみんなで支えあいながらするものです。
- 進路活動はとても大変でしたが多くのことを得られたと思います。自分には何が欠けているのか、何をすべきなのか考えさせられました。高校生活で学んだことは全て自分の進路につながり、無駄なことはないと感じることができました。
- 進路活動を通して、後輩の皆さんにこれからの生活で大切にしたいことの1つ目は“自分のことをよく知ること”です。2つ目は“周りの人に支えられていることを忘れないこと”です。辛い時は家族や友人、先生をたくさん頼ってください。
- 進路活動で困った時は、1人で悩んで落ち込むことがないように沢山相談してみてください！また、自分の長所や短所など何でも良いので自分のことをノートにまとめておくと、面接練習の時に少しは楽だと思います。それから、ニュースは毎日見てください。
- 最後まで諦めないこと。たとえどんなに反対されても、壁が高くても、一度きりの人生です。本気で考えているのならば、諦めずに追ってほしいなと思います。やり直しならいくらでもできます。やらない後悔よりもやる後悔です。
- 3年間の進路活動を通して感じたことは、その場しのぎにしないことです。先生が出す課題には意味があります。また、高校生活は一瞬です。先生の指導に素直についていけば最後には必ず結果が出ます。自分の夢を実現するために精一杯頑張ってください。
- 私は急に進路を変えたので、親への迷惑と負担をかけてしまいました。また、親との話し合いは絶対に必要です。自分のことから話さないのではなく、自分の将来のためにも親との会話は面倒臭がらないでください。何より親が一番心配しています。
- 早めに行動を起こしたほうが良いと思います。やりたいことが早く決まれば、準備する時間が増えます。
- 自分自身を信じ、鋼の意志を持ち、それぞれが正しいと思う道を進んでいだけだです。後悔のない進路選択をしてください。
- 進路活動は一人で全部やろうとしても苦しくなるだけです。家族や先生、友人に相談すると気持ちが楽になります。

★1 学年 総合的な探究の時間 めぐだまるしえ with 大野高校

1学年では、大野活性化に向けた企画を提案し、その実現を目標に活動をしてきました。地元企業の協力のおかげで、生徒の企画を実現する場としておおのキャンパスのイベント「めぐだまるしえ」に参加させていただくことになりました。しかし、生徒の活動にもより一層熱が入ってきた矢先に、コロナウイルス感染症の感染拡大を受けてイベントへの参加ができなくなってしまいました。

実現化は叶いませんでしたが、地元の高校生が大野の活性化について真剣に考え、実現しようと取り組んでいることを広く知っていただきたいと思い、各班の活動をまとめました。大野高校ホームページや情報発信班のインスタグラムで詳細なものが見られますので、ぜひご覧ください！

(注「めぐだまるしえ」：岩手の方言「めぐだまる(温まる)」と伝語「まるしえ(市場・マーケット)」の合成語。)

情報発信班のインスタはこちら

JOHO_HASSIN

★今までお世話になりました(T_T) (離任される先生方からのメッセージ)

三森 健 副校長先生 (R1~宮古高へ) (注)「R1」は着任年度。以下同じ
 ○ あっという間の3年間でした。大野高生は純朴で素直で、些細なことに対して「ありがとうございます」と声をかけてくれる生徒が多く、いつも晴れやかな気持ちにさせてくれました。こちらこそ、ありがとうございました。コロナ禍が長く続き、制限のある中で開催した行事でも、全員で喜びを存分に分かち合い楽しむ姿が印象的でした。これからも大野愛を忘れずに、一人ひとりが羽ばたいてくれることを願っています。地域の方々にも大変お世話になりました。大野高校魅力化に向けて親身にご対応くださり、探究活動へのご指導、地域活性化への支援や入学支援金補助、整備が難しくなったグラウンドの整地にもご尽力いただいた洋野町の方々へ、心より感謝申し上げます。また、日曜の地域清掃活動に私はそれほど協力できなかったにもかかわらず、野菜をお裾分けいただいたご近所の班長さん、本当に嬉しかったです。次の新天地は宮古高校になりますが、時には大野の澄み切った空に満点の星空、おおのキャンパスの素晴らしい山並みを思いだし、元気になりたいと思っています。3年間本当にお世話になりました。

島山 拓矢 先生 (理科・硬式野球・H28~花巻北高へ)
 ○ 6年前、車を降りると家畜の匂い、職員玄関に入るとカメムシの匂い、校門前の自動販売機には熊が出る…。ここでやっつけられるのか本当に不安になりました。しかし、その不安を裏切るように素直で心優しい生徒に囲まれ、とても楽しく充実した6年間を過ごすことができました。嘘でも忙しくないとは言えない6年間を過ごしましたが、いつも生徒に支えてもらっていたような気がします。また、保護者、野球部父母会、地域の方々にもたくさんのご理解とご協力をいただき、様々な場面で支えていただきました。大野の温かさに支えられた6年間でした。本当にありがとうございました。不安だらけで始まった大野、今ではとって大好きになりました！今後の大野高校の皆さんの活躍を応援し続けたいと思います。がんばれ大野高校！！

伊藤 誠章 先生 (国語・硬式野球・R2~杜陵高へ)
 ○ 2年間お世話になりました。もう給食が食べられないと思うと残念でなりません。地域と学校がこんなにも繋がっているところはそうありません。非常に貴重な経験ができたと思っております。今度はバイクツーリングをしに来て、自然を満喫したいと思います。ありがとうございました。



坂本 奈都子 事務長 (R2~久慈東高へ)
 ○ 大野高校には2年間勤務をさせていただきました。地域の方々の優しさ、生徒の素晴らしい、とても居心地の良い学校でした。岩手県内の県立学校でも、これほど地域に支えられている学校はないと思っています。私が勤務した2年間はコロナウイルス感染症のため、様々な行事が中止となり、活動が狭められた2年間でした。ナニヤドヤも通勤時の帯島の看板でしか見たことがありません。コロナウイルス感染症が収束し、生徒が道中踊りする姿を見たいと思います。皆様が健康で、元気に過ごされることを祈念いたします。

川崎 純奈 先生 (かがやきプラン・R1~久慈高へ)
 ○ 3年間支援員としてお仕事をさせて頂く事が出来て、充実した楽しい毎日でした。皆さんの成長を見守る事が出来ないのは残念ですが洋野町の町民として応援しています。生徒の皆さん、先生方、色々な活動でお世話になった方々本当にありがとうございました。また、どこかで会いましょう！

ロバート・マクミラン先生 (英語・R1~普代村教委へ)
 ○ 大野高校でとても素敵な時間を過ごすことができたのは、皆さんのおかげです。ありがとうございました。皆さん一人ひとりが私には特別で愛しい存在でした。生徒のみんなが大好きです。これからも努力を続けてください。でも、一番大切にしてほしいのは、幸せであることです。大変な日々もありますが、どの日々も新たな一日なんです。いつもスマイルを忘れず、全力を尽くしましょうね。(注)原文は英語

★1年間ありがとうございました。来年度も大野高校をよろしくお願いします!!